一般質問（要旨）

あきしまの夜空を彩る夢花火
（令和７年昭島市民くじら祭）

タバコ対策・「18歳の壁」をなくす支援体制について

無会派　なかお フミヒト 議員

質問　喫煙所の設置とたばこ対策について、①禁煙を促進するため、関係機関と連携した啓発事業など、どのような支援策を講じているのか。②拝島駅北口のような、市境で土地の権利者等が複数関係する場所での喫煙所設置の課題は。③駅周辺における公的な喫煙所の設置について、考えは。

答弁　①禁煙治療費の助成等を実施しているほか、健康被害の認識を高めるパネル展示も実施している。②地権者それぞれの考えがあるものと認識しており、設置は困難である。③とりわけ苦情の多い区域への設置を検討している。

質問　重症心身障害児・医療的ケア児の「18歳の壁」をなくす支援体制について、①支援学校を卒業し、日中の居場所がショートステイ等に移行する中、予約が取れないことや緊急時の預け先がないとの声がある。認識は。②「親亡き後」を見据え在宅やグループホームへの入所等、家族の希望や不安を踏まえた長期的なライフプランについて、考えは。③「18歳の壁」を乗り越えるには個別施策だけでなく、明確な方向性とビジョンが必要である。見解は。

答弁　①課題と認識しており、グループホームの整備があった際は緊急一時ベッドの確保などについて、事業者へ働きかけている。②グループホーム等の地域生活支援拠点施設は不可欠と捉えている。引き続き将来を見据えた生活の場の確保や支援体制の充実に向け、取り組んでいく。③不足する支援サービスについては、引き続き参入事業者へ働きかけるとともに、各般にわたる福祉施策の推進に努めていく。

子どもたちが安心安全な街について

都民ファーストの会・立憲民主党昭島市議団　八田 一彦 議員

質問　子どもたちを取り巻く環境に対し、将来を見据えた計画的な対応が求められる。①緑町地域における中学校の学区域変更は、子どもたちの進学先や人間関係、地域とのつながりに関わる極めて重要な問題であると考える。パブリックコメントの提出件数が非常に少なかったが、今後の説明会で出される意見等を考慮し、再考する考えは。②部活動の活動実績や指導体制などを比較し、希望する部活動が他校にあった場合、同様の部活動が指定校にあっても変更することは可能なのか。③兄弟姉妹が同じ学校に通える特例措置を検討する考えは。④ＧＬＰ昭島プロジェクトの影響により、大型車両が増加していくと予想される中、堀向通りの安全対策が不十分との声がある。子どもたちの安全を確保するため、ガードパイプをガードレールへ変更する考えは。⑤大型車両の増加は道路の損傷を早めることに加え、通学路の安全にも影響を与える。道路舗装における更新計画について、今後の考えは。

答弁　①再考する考えはないが、説明会での様々な意見をしっかりと受け止め、対応できる部分については、検討していく。②指定校に希望する部活動がない場合に指定校変更を認めている。③同一の学校に通いたいという希望は、指定校変更の理由に該当する。④令和３年から５か年で実施している舗装の改修工事に合わせ、オレンジ色のラバーポールを設置し、ドライバーへの注意喚起を図っている。⑤道路ストック点検を実施した上で、路面性状調査の結果により優先順位を決定し、計画的に行っていく。

ＧＬＰ昭島プロジェクトの環境影響について問う

日本共産党昭島市議団　大野 ふびと 議員

質問　ＧＬＰ昭島プロジェクトのデータセンターについて、①ＡＩ用データセンターの蓄電池の電解液は危険物となっている。市民の命と安全を守るため、開発事業者に対し、用途の開示を求めるべき。②市全体の６倍の電力消費による排熱は、気温上昇の要因になると考える。対応策を事前に提示するよう、開発事業者へ求めるべき。③市民が施設稼働前の気温測定を行っている。市独自で測定を行い、実態を把握すべきでは。

答弁　①秘匿性が高いため非公開とされているが、可能な部分の公開を求めていく。②これまでも設備の高効率化や環境に配慮した省電力化等を求めており、引き続き要請していく。③現時点で実施する考えはないが、開発事業者との協議の場において、継続的なモニタリング等を求めていく。

質問　法改正により、公務員の職務専念義務の免除と兼業の許可に特例を設け、予備自衛官等への任用が拡大された。災害発生時や繁忙期に市職員が職場を離れる可能性はあるのか。

答弁　国からの詳細が示されていないため、現時点では不明であるが、今後の通知やガイドライン等を注視していく。

質問　自転車への青切符制度の導入により、交通ルールの遵守が求められているが、一時停止線や外側線が消えかかっている等、環境整備が追い付いていない状況にある。対応は。

答弁　外側線は交通安全上、大変重要なものと認識している。通学路を中心に優先順位を決めながら、計画的な再施工を行うとともに、昭島警察署に路面標示の再設置を要望していく。

地球温暖化対策に向けて

自由民主党昭島市議団　小林 こうじ 議員

質問　地球温暖化によるストレス軽減に向けて、①身体的ストレス対策として、歩行をアシストしたり、重いものを持ちやすくしたりするアシストスーツの導入について、見解は。②扉があり、エアコンが完備されている小型ＥＶモビリティーは、市の事業やイベントなどを行う際の灼熱対策のほか、ＣＯ２の削減にもつながるなど、メリットは多いと考える。導入について、見解は。

答弁　①屋外作業を行う人の安全と健康を守る観点から、導入事例や効果について情報収集を行いながら、研究していく。②現在は、庁用車の効率的な運用に努めている。導入自治体の実証実験の結果等について情報収集を行い、業務実態に照らした検討を進めていく。

質問　市が所有する水素を使った電気自動車のＦＣＥＶは、水素を満充填すれば、一般家庭の１週間分の電気を賄える。カーボンニュートラルに向けた取り組みのアピールのため、イベント等で使用する考えは。

答弁　今後は、単なる移動手段としてではなく、カーボンニュートラルの実現に向けた象徴的存在、災害時の非常用電源、イベント等における啓発ツールという３つの側面からの更なる活用について、検討していく。

質問　施設併合や新規施設を設計する際、デザインと実用性とを分けて考える必要がある。事故のない、利用者に不満のないデザインが望ましい。所見は。

答弁　施設設計の際には、安全かつ安心して利用できる施設を整備するために、設計業務に参画し、適正かつ魅力ある施設の設計に引き続き努めていく。

2面下段より

市道路線の認定を可決とする委員長報告について

反対　日本共産党昭島市議団　奥村 博 議員

本路線は、玉川上水南側地区地区計画に基づき配置する道路としているが、同計画は総合基本計画や都市計画マスタープランに反していると指摘してきた。

さらに、ＧＬＰ昭島プロジェクトを前提とした新設道路であり、発生交通量の抑制に対し、何ら努力している形跡がないことに加え、データセンターから発生する莫大な電力使用量と二酸化炭素などによる環境悪化への懸念に対し、市民理解が得られていない。

よって、本路線の認定に反対する。

反対　みらいネットワーク　林 まい子 議員

本路線は、東京都環境影響評価制度に基づく評価手続きは終了しているが、専門家をはじめ、各所から様々な指摘を受けている。

また、昭島市環境基本計画が目指している、水と緑の連続性を確保するエコロジカル・ネットワークの保全や創出、更には生物多様性への負担を実質ゼロとする目標と本路線の整備との整合性が取れているのか疑問である。

以上、環境影響への懸念が払拭されず、今後も注視が必要な状況であるため、本路線の認定に反対する。

重症食物アレルギーを持つ児童生徒の宿泊行事における教育の機会均等と安全確保のための公的支援に関する陳情を不採択とする委員長報告について

反対　日本共産党昭島市議団　大野 ふびと 議員

本陳情は、食物アレルギーを有する児童・生徒が安心して宿泊行事に参加できるよう、支援のあり方に対し、検討を求める提案と受け止めるべきである。

また、看護師等を配置して宿泊行事を安全に実施できているのであれば、今後も維持し、更なる充実が重要と考える。

自己注射薬を携帯して学校生活を送っている児童・生徒が安心して宿泊行事に参加し、仲間とともに学び、成長する機会を保障するため、本陳情を不採択とする委員長報告に反対する。

4面下段へ続く